



学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

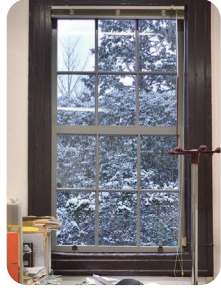
CHAPTER
11

仙台市歴史民俗資料館

わたなべなおと
学芸員 渡邊 直登さん



仙台市歴史民俗資料館の建物は、明治7(1874)年に建てられた宮城県内最古の洋風木造建築で、主に明治時代から現代にかけての歴史・民俗資料を展示しています。普段は資料の収集・整理や企画展等の企画・実施、イベントや体験講座などの普及活動などのほか、これらに関する調査研究(私の専門は民俗学ですので、主に民俗学の観点から)を行っています。当館は榴岡公園内に位置していますが、天気の良い日には大勢の親子連れやグループ、犬の散歩をする人々などで賑わいます。また、周囲はさまざまな公園の木々に囲まれ、四季の移ろいを感じることができます。明治時代初期の建築である当館建物の特徴のひとつにガラス入り上げ下げ窓が挙げられますが、杉材による焦茶色の厚めの窓枠に、さらに杉材の鼠色の建具にガラスが嵌めこまれた窓はとてもレトロでやわらかい印象で、疲れたときにはこの上げ下げ窓から季節ごとに変化する公園内の景色を眺めます。また、カメラが趣味の私にとっては、イベント等の記録写真や、館のSNSや広報物に掲載する写真を撮影することもひと休みになっています。自身が撮影した写真が広報物に掲載されたり、SNS上で反応があると嬉しく思うと同時に、その写真をきっかけに来館されるお客様や館に関心を持つ方が増えればと思っています。



館のSNSや広報物に掲載する写真を撮影することもひと休みになっています。自身が撮影した写真が広報物に掲載されたり、SNS上で反応があると嬉しく思うと同時に、その写真をきっかけに来館されるお客様や館に関心を持つ方が増えればと思っています。



SMMAとは

知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

WEBサイト 見験楽学

SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるとっておきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならず、旅行で訪れた方々にもお役に立ち、楽しみながら発見や体験をしていただけるウェブサイトです。



発行・問い合わせ先: 仙台・宮城ミュージアムアライアンス (SMMA) 事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内)
tel: 022-713-4483 fax: 022-713-4482 email: office@smt.city.sendai.jp website: https://www.smma.jp
編集/SMMA事務局 デザイン/ANTWORKS イラスト/よしみさこ 発行日/2021年2月26日 掲載した記事・情報は発行日の段階のもので、この紙はリサイクルできます

2021 春号 旬の見験楽学



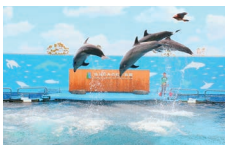
ミュージアム de ブレイクタイム

SPOT 仙台うみの杜水族館

生きものの魅力を伝えるだけでなく、海と暮らす人々とのかかわりを展示に取り入れた「地域とともに作りあげる」ことを意識した新しいコンセプトの水族館です。



大水槽「いのちきらめくうみ」では、2万5千尾のマイワシたちが躍動感あふれる群れの泳ぎで魅了



イルカ、アシカ、バードが共演する躍動感に満ちたパフォーマンス

☎ 仙台市宮城野区中野4-6 ☎ 022-355-2222 図 9:00-17:30(入館は閉館の30分前まで) ※季節によって変動あり 年中無休
大人2200円、中・高校生 1600円、小学生 1100円、幼児 600円、シニア 1600円

WAKUWAKU OCEAN フードコート

世界三大漁場である三陸の海など、食を通じてその豊かさを感じられるメニューがいっぱい。



フカヒレ拉麺

1250円(税込)
三陸の漁業を彷彿とさせるフカヒレが贅沢に入った一皿。東北の海の豊かさを感じることができる。



ドルフィンカレー

830円(税込)
イルカのパフォーマンスの瞬間を閉じ込めたようなかわいらしい見た目に反して、しっかりとスパイスの効いたピリ辛カレー。

ミュージアムショップ umimori shop



モーリーぬいぐるみ

L 3800円 S 1223円 寝そべりS 1650円(すべて税込)
水族館のキャラクター、ペンギンのモーリーのぬいぐるみは人気のお土産。モーリーの特技はフィギュアスケート、好きな食べ物は笹かまぼこと長なす漬け。



モーリー サステイナブルバック

550円(税込)
ペンギンのモーリーと海の生きものたちのポップなグラフィックが楽しいエコバックは、日常使いに大活躍しそう。



ダイオウゴクムシ スイートポテト

1350円(税込)
箱をあけてびっくり仰天、ダイオウゴクムシの形をした大迫力のスイートポテトは、ユーモアもボリュームもたっぷり。



SMMA参加館ゆかりの人物にせまります。人を知って、收藏品をもっと身近に、もっと楽しく。

矢部 長克

(1878-1969)
明治11(1878)年東京生まれ。1901年東京帝国大学地質学科卒業。1908年から1912年までドイツ、オーストリア、アメリカへ留学。1911年から1940年まで東北帝国大学教授。1953年「糸魚川-静岡地質構造線提唱等の地質学・古生物学研究」の功績により文化勲章を受賞。



地質学・古生物学研究の先駆け - 矢部長克が実現した理想 -

留学中の1911年11月に東北帝国大学理科大学地質学科の初代教授に任命された矢部は、留学中の知見や経験を生かして、黎明期の日本の地質学から一歩ずつ近代的地質学へと発展させた。開設当初、ドイツやフランスの標本会社から世界中の化石や岩石標本を、日本の標本会社から動物骨格標本などを購入して標本室を設け、また当時最先端のヨーロッパの文献資料を取り寄せて資料室を設け、研究環境を整備しました。矢部とその弟子たちにより、日本中の地質の調査、地層対比および古生物の研究が精力的に行われ、日本の地質学全体が大きく進歩しました。古生物の分野ではとくにサンゴ、大型有孔虫、アンモナイトの成果が顕著です。東北大学は古生物学の一大研究拠点として世界に知られることとなりました。



ミクロネシア・チュウク諸島のサンゴ礁での調査風景(1937年) 矢部にちなんで名付けられた化石



① Yabeina globosa ヤベイナ (Deprat 1914による) ベルム紀を代表するフズリナ化石、岐阜県産、登録番号2
② Yabeiceras orientale ヤベイケラス (Tokunaga and Shimizu 1926による) 白亜紀のアンモナイト、北海道産、登録番号35342
③ Sinomegaceras yabei ヤベオツノシカ (Shikama 1938による) 更新世の絶滅した大型のシカ、栃木県産、登録番号61670

未来永劫受け継がれる標本たち

矢部の回想記に「日本で標準標本に番号を打って保存する様にしたのは私が初めて仙台でやった」とあります。番号1番から始まった標本登録のシステムは脈々と受け継がれており、現在は11万台に至っています。東北大学総合学術博物館に展示されている標本の番号にも研究の歴史が垣間みられます。

ここでちょっと知る!
東北大学総合学術博物館(理学部自然史標本館)
☎ 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 ☎ 022-795-6767
図 10:00-16:00
☎ 月曜(祝日の場合は翌平日)、お盆、年末年始ほか
☎ 大人150円、小・中学生80円